地域森林計画（尾鷲熊野）の樹立について（１／２）

資料１－１

地域森林計画は、知事が、全国森林計画に即して、民有林について森林計画区別に5年ごとに10年を一期として樹立する計画で、県の森林関連施策の方向及び地域的な特性に応じた森林整備及び保全の目標等を明らかにするとともに、市町村森林整備計画の樹立に当たっての指針となるものです。
三重県には4つの森林計画区があり、令和4年度は尾鷲熊野地域森林計画を樹立します。

地域森林計画は森林法第5条に掲げられた事項について定めるものとされており、次の①から④までの事項の計画量については全国森林計画から各森林計画区に割り当てられた基礎数量の上下20%の範囲内とする必要があります。

①伐採立木材積（主伐）
②人工造林・天然更新別の造林面積
③間伐立木材積
④保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

前計画からの主な変更点 ①

○実行結果（P21～P23）

実行結果（H30～R4）	計画		実行		実行歩合		計画と実行結果についての検討
1）伐採立木材積（総数）	720	千㎥	392	千㎥	54.4	%	森林所有者の世代交代に伴う林業経営意欲の低下 ウッドショックにより、木材価格の高騰はみられたが、森林所有者の十分な施業経費確保には至らなかった。
主伐（①）	232	千㎥	146	千㎥	62.9	%	
間伐（③）	488	千㎥	246	千㎥	50.4	%	
2）人工造林・天然更新別の造林面積（②）	1,561	ha	292	ha	18.7	%	
人工造林	1,407	ha	274	ha	19.5	%	
天然更新	154	ha	18	ha	11.7	%	
3）間伐面積	8,946	ha	3,737	ha	41.8	%	
4）林道の開設又は拡張の数量							地方公共団体の厳しい財政状況 森林作業道の開設により補完
開設	20.3	km	2.8	km	13.8	%	
拡張	76	箇所	24	箇所	31.6	%	
5）保安施設の数量							
（1）保安林の指定又は解除の面積（④）	25,276	ha	25,292	ha	100	%	概ね計画通りに実施
6）治山事業の実施	36	地区	25	地区	69.4	%	想定より被災箇所が減少したこと等による実行箇所の減少

※保安林の指定又は解除の面積＝水源涵養のための保安林の面積
＋災害防備のための保安林面積＋保健、風致の保存等のための保安林の面積

地域森林計画（尾鷲熊野）の樹立について（２／２）

前計画からの主な変更点 ②

○計画量（P81～P86）

計画量（R5～R9）	前計画（H30～R4）		基礎		計画		計画/基礎		計画量設定の考え方
1）伐採立木材積（総数）	720	千㎥	924	千㎥	769	千㎥	83.2	%	前計画の実行歩合が低位であったことから、前計画量と同等で、基礎数量の上下20%の範囲内となるように計画量を設定
主伐（①）	232	千㎥	351	千㎥	281	千㎥	80.1	%	
間伐（③）	488	千㎥	573	千㎥	488	千㎥	85.2	%	
2）人工造林・天然更新別の造林面積（②）	1,561	ha	2,135	ha	1735	ha	81.3	%	
人工造林	1,407	ha	1,976	ha	1,581	ha	80	%	
天然更新	154	ha	159	ha	154	ha	96.9	%	
3）間伐面積	8,946	ha	―	ha	8,946	ha	―	%	実行結果を踏まえ、前計画量と同じ計画量を設定
4）林道の開設又は拡張の数量									
開設	20.3	km	―	km	12.6	km	―	%	実行結果を踏まえ、計画量を設定
拡張	76	箇所	―	箇所	23	箇所	―	%	
5）保安施設の数量									
（1）保安林の指定又は解除の面積（④）	25,276	ha	25,858	ha	25,762	ha	99.6	%	
6）治山事業の実施	36	地区	―	地区	10	地区	―	%	

○県が目指す森林・林業の姿（P25～P27）

三重県の森林・林業の政策状況をふまえて、改めて記述内容を整理しました。

- 令和3年10月に「みえ木材利用方針」が策定されたことを踏まえ、「三重の木づかい条例」の理念に基づく、日常生活や事業活動における積極的な県産材利用の促進や川上から川下に至る幅広い関係者の情報共有の機会づくりによるサプライチェーンの構築支援などに取り組むことについて記載しました。

- 「みえ森林教育ビジョン」に基づく、森林教育の考え方や森林・林業について学ぶ機会の創出のため、森林教育に気軽にアクセスすることのできる施設を「みえ森林教育ステーション」として認定する制度を開始したことから、その内容について記載しました。

○計画の対象とする森林の区域（P29）

市町別の森林面積は、尾鷲市の「8ha」減少、熊野市の「7ha」増加などを含めて、総数で「2.08ha」増加し、「74,192.79ha」となっています。